

【第3編 資産運用 11-58】老後の資産の取り崩し

三つのポイントを押さえて資産を取り崩そう

「三つのポイント」

①定期・定率で取り崩す

・定期「定率」の特徴

→取り崩し額は安定しないものの、リスク資産を効率よく高値で売却しやすい

・定期「定額」での特徴

→取り崩し額は安定するものの、いわゆる安値売りをしてしまう可能性が増加する

※定期定額での買付は「ドルコスト平均法」である

②期待リターン以下で取り崩す

・ポートフォリオの期待リターン以下で取り崩す

→インフレ率も考慮する

例：期待リターンが株式8%、債券3%の場合

→全体の期待リターンは5.5%

・期待リターン以下での資産の取り崩しを考える際には「シークエンス・オブ・リターン・リスク」も考慮する必要がある

※シークエンス・オブ・リターン・リスクとは、リターンがどのような順番で実現していくかにいよって取り崩しながらの運用残高が変動するリスクのこと

③安全資産とリスク資産をリバランス

・リバランスとは

→資産配分の調整



取崩に設定した比率に引き下げる

- ・資産比率が均等でない場合

